

Question

妊婦さんの治療可能な時期と注意すべきことについて教えてください。

質問者

(新潟県 T.Y.さん・92回)

Answer

附属病院では、マタニティ歯科外来が開設され、妊娠中や出産後1年未満の患者さんが来院しています。しかし、患者さんの多くは通院のしやすさ、大学病院に初めて行くことへの不安などから、かかりつけ医での治療を希望しています。正しい知識と産婦人科との連携により、妊娠中も安全に歯科治療が行えます。

1. 治療時期

安定期(妊娠16～27週)には、外科処置を含め一般的な歯科治療を行うことは可能です。産婦人科主治医に歯科治療が可能なこと、使用可能な薬剤などの注意事項を確認したうえで、治療を始めましょう。

2. エックス線検査

自然放射線から1年間に人体が受ける放射線量は、約1.5mSvです。デンタルエックス線1枚で0.01mSv、パノラマエックス線1枚で0.03mSvと低い値です。デジタルエックス線では、さらに、1/2～1/10の値です。胎児への影響はほとんどないと考えられます。診断・治療のために、必要最小限の撮影は可能です。

3. 浸潤麻酔、抗菌薬・鎮痛薬の使用について

疼痛によるストレスを考えると、産婦人科の指示に従い、適切に使用した方が良いでしょう。一般的には、浸潤麻酔には、2%塩酸リドカイン(オーラ注など)、3%塩酸メピバカイン(スキヤンドネストなど)を通常量(5ml以下)使用します。抗菌薬として、ペニシリン系(サワシリン、パセトシンなど)、鎮痛薬として、アセトアミノフェン(カロナールなど)を処方します。

母乳への薬剤の移行を気にする場合は、薬剤の代謝・排出時間を考慮して授乳を避け、人工乳や予め採乳したミルクを与える方法を説明します。

4. 仰臥位低血圧症候群

仰臥位になることで、子宮が下大静脈を圧迫し(図1)、右心室への静脈環流量が減少し、心拍数や血圧の低下することがあります。左側仰臥位(図2)をとり、予防・改善を行いましょう。

マタニティ歯科外来の患者さんの中には、妊娠前

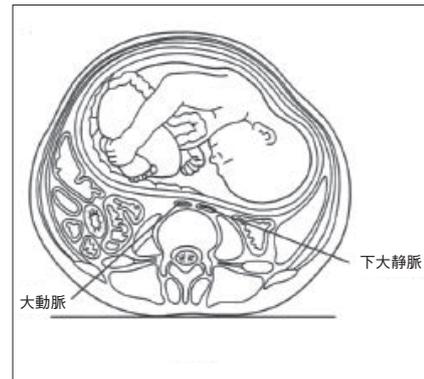


図1 仰臥位

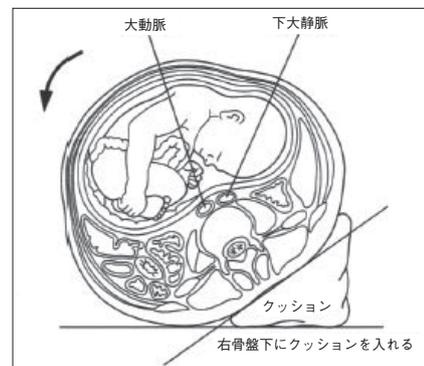


図2 骨盤左方横転

図1, 2 仰臥位による下大静脈の圧迫: Ostheimer, G. W.: Regional Anesthesia Techniques in Obstetrics, New York, Breon Laboratories Inc., 1980より引用

からの歯科疾患の悪化で来院されるケースが多々あります。母親の口腔環境が生まれてくる赤ちゃんに影響をもたらすことを周知し、妊娠前の検診や治療の必要性、さらに、‘マイナス1歳からの口腔ケア’を広めていただきたいものです。

質問の回答者



すずき あさみ
鈴木 麻美

附属病院 総合診療科2